

館報

第29号



2023

静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	4
2	概要	
2-1	登呂博物館	7
2-2	登呂遺跡	7
3	管理運営	
3-1	利用状況	8
3-2	利用者数詳細	8
3-3	入館者数推移	9
3-4	観覧者数推移（リニューアル後）	9
3-5	体験学習等利用状況	10
3-6	組織	11
3-7	予算・決算	11
4	展示	
4-1	春季企画展「誕生スルガノクニ - 静岡市の奈良・平安時代 - 」	14
4-2	夏季企画展「登呂博今昔ものがたり」	16
4-3	秋季企画展「祀りとまつり展」	18
4-4	冬季企画展「コメ作りの考古学と民俗学」	21
4-5	特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」	23
4-6	特別展・企画展開催実績（リニューアル後）	24
4-7	通常展示	26
5	保存活用	
5-1	修理事業	27
5-2	資料貸出	28
5-3	寄贈	28
6	教育普及	
6-1	主催事業	29
6-2	共催・連携事業	32
6-3	講師派遣・出張講座	34
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	35
7-2	視察等受入	35
7-3	博物館実習	35
8	広報	
8-1	広報印刷物	36
8-2	ウェブサイト・SNS	37
8-3	報道・広告等	38
8-4	トロペー	41
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	42
9-2	博物館協議会	44
10	利用案内	46

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。
2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。
3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。

4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基いて復原整備を行うと共に、より多くの人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される
昭和 43 年~47 年 (1968~72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館

昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年 (1990)	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催
平成 31 年 (2019)	10 月 1 日	登呂博物館公式 Twitter「トロペーのひとりごと」運用開始
令和 2 年 (2020)	1 月	登呂博物館新公式ホームページ公開
	4～5 月	新型コロナウイルス感染拡大防止により休館
令和 4 年 (2022)	10 月	登呂博物館屋上にベンチ新設
	10 月 22.23 日	登呂博物館開館 50 周年、特別史跡指定 70 周年記念事業 秋の収穫祭「ハッピートロウィン」開催
令和 5 年 (2023)	2 月 25 日～	登呂博物館開館 50 周年、特別史跡指定 70 周年記念

- 特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」の開催
- 3月4日 関連シンポジウム①「登呂の時代と祭祀」開催
- 3月5日 関連シンポジウム②「弥生時代墓制の変化と社会」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和47年4月1日
リニューアルオープン 平成22年10月3日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造2階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	96.65
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場	53.51
教育普及	交流ホール(収納庫除く)	160.18
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園(登呂公園)、一時避難地

(2) 面積

総面積 約66,000 m²*

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

*特別史跡に博物館・美術館・銈介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5棟^{※1,2}

高床倉庫 3棟^{※1}

祭殿 1棟

※1 各1棟は昭和年間に設計のもの

※2 1棟は鉄骨造GRCパネル貼り構造

イ 設計 昭和-関野克 平成-宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銈介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園(学びの広場、園路など)

静岡市都市局都市計画部緑地政策課、

公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料金 普通車400円、バス1,500円

オ ミュージアムショップ運営

ショップ・イイジマ

3 管理運営

3-1 利用状況

令和4年度博物館利用状況 ()内は前年度の値

開館日数 300日 (302日)

入館者数 161,181人 (118,132人)

観覧者数 41,162人 (38,300人)

団体見学 359団体※ (303団体) ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細 (単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
有料観覧者数	一般	個人	1,214	1,774	944	1,202	1,829	865	1,046	886	758	926	968	1,585	13,997
		団体	30	0	0	0	0	14	76	0	63	31	25	0	239
		回数券	10	6	6	37	11	10	16	24	1	7	10	31	169
		助成券	11	12	14	25	24	5	12	11	6	11	11	16	158
		共通個人	294	557	207	367	573	242	232	338	140	364	363	389	4,066
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,559	2,349	1,171	1,631	2,437	1,136	1,382	1,259	968	1,339	1,377	2,021	18,629	
	高校・大学生	個人	82	174	37	76	217	65	49	89	120	144	87	176	1,316
		団体	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	8
		回数券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
		助成券	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	4
		共通個人	17	24	10	19	42	16	39	7	4	26	19	52	275
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	99	198	47	95	260	83	88	96	124	171	117	230	1,608	
	小・中学生	個人	342	468	140	400	804	184	204	111	97	180	179	356	3,465
		団体	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	4	0	27
		回数券	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	12
		助成券	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	2	7
共通個人		10	43	6	27	91	4	10	11	2	19	13	15	251	
共通団体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	357	512	146	428	896	211	215	127	99	200	196	375	3,762		
合計	2,015	3,059	1,364	2,154	3,593	1,430	1,685	1,482	1,191	1,710	1,690	2,626	23,999		
無料観覧者数	一般	学校行事	61	178	238	103	0	90	137	52	48	0	17	4	928
		身障者	67	105	76	85	158	64	91	69	73	93	93	140	1,114
		老年人	25	49	60	37	50	24	40	66	15	44	23	78	511
		施設	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	15
		視察等	10	0	0	1	0	2	9	0	0	0	0	0	22
		その他	6	14	9	10	0	6	8	8	11	0	2	0	74
	小計	169	346	383	236	208	186	285	210	147	137	135	222	2,664	
	高校・大学生	学校行事	0	8	36	0	0	0	8	0	10	0	0	0	62
		身障者	0	0	0	0	5	6	0	1	0	0	0	4	16
		研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
		小計	0	8	36	0	5	6	8	1	25	0	0	4	93
	小・中学生	学校行事	712	2,040	3,555	1,691	0	1,200	1,437	388	513	0	289	89	11,914
		身障者	4	8	12	10	22	11	6	9	4	8	8	16	118
		市内	75	155	81	93	193	54	122	27	23	25	33	59	940
		キッズ	79	111	48	61	108	24	37	22	14	23	24	50	601
		幼児	54	92	35	102	115	51	66	91	31	81	49	57	824
		施設	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	9
小計	924	2,406	3,731	1,957	447	1,340	1,668	537	585	137	403	271	14,406		
合計	1,093	2,760	4,150	2,193	660	1,532	1,961	748	757	274	538	497	17,163		
総計	観覧者	3,108	5,819	5,514	4,347	4,253	2,962	3,646	2,230	1,948	1,984	2,228	3,123	41,162	
	総入館者	10,303	18,380	17,329	13,594	15,429	10,666	28,270	10,708	7,674	8,039	8,888	11,901	161,181	

3-3 入館者数推移（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
2	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168
3	7,490	15,593	14,226	10,118	8,404	5,351	11,088	16,343	8,300	5,955	5,507	9,757	118,132
4	10,303	18,380	17,329	13,594	15,429	10,666	28,270	10,708	7,674	8,039	8,888	11,901	161,181
リニューアル後 (H22～R3)													2,119,712
旧博物館 (S47～H19)													6,954,504
合 計													9,074,216

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
2	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
3	2,534	4,602	5,077	3,449	2,626	1,374	3,800	5,274	2,943	1,728	1,700	3,193	38,300
4	3,108	5,819	5,514	4,347	4,253	2,962	3,646	2,230	1,948	1,984	2,228	3,123	41,162
合 計													561,366

3-5 体験学習等利用状況

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの実演
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
※新型コロナウイルス感染対策のため令和4年度は実施せず
- ・「屋外体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数1～4人)が対応
- ・「屋外体験指導員」の活動は、文化庁の「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」を受けて、実施している

月	来場案内者	火起こし
4	9,121	1,966
5	16,134	3,774
6	16,150	4,404
7	13,065	2,569
8	12,955	1,052
9	9,181	1,871
10	24,205	2,443
11	9,160	1,465
12	6,630	1,195
1	6,840	746
2	7,560	1,199
3	10,046	1,164
合計	141,047	23,848

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習の実演(臼と杵による脱穀・穂摘み・田下駄)及び解説、パンフレットの配布
- ・貫頭衣着用・丸木舟・土器パズル等体験実施なし、展示のみ
- ・「体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数2～3人)及びボランティアスタッフが対応

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・利用者 令和4年度：4,967人
- ・会計年度任用職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡市文化財課による展示(9月)
- ・静岡県埋蔵文化財センターによる展示(10月～12月)
- ・登呂まつり関連展示(1～2月)
- ・鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課による展示(「青谷弥生人」ミュージアムキャラバン)(2～3月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-6 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課

- ├ 文化財保護係
- ├ 埋蔵文化財係 - 埋蔵文化財センター
- ├ 三保松原文化創造センター
- └ 登呂博物館

≪登呂博物館職員数≫

職員数 19 人・・・登呂博物館長 1 人、副主幹 1 人、主任主事 2 人、主事 3 人、会計年度任用職員 12 人

≪その他≫

博物館ボランティア・・・53 人（令和 4 年 4 月 1 日時点）

3-7 予算・決算

(1) 令和 4 年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額（歳出も同様）

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,571,000	5,822,540	博物館観覧料
文化財保護費補助金 (国庫補助金)	4,331,000	4,380,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (出土品保存修理事業、「登呂ムラ」発信事業)
使用料	10,000	10,500	博物館施設使用料（行政財産：電柱等）
土地貸付収入	3,523,000	2,764,754	一般土地貸付料（普通財産：駐車場土地ほか）
各種発行物売払収入	599,000	481,310	図録売払収入
教室等会費収入	301,000	430,700	講座・講演会参加料
雑収	205,000	141,165	社会教育費雑入（ミュージアムショップ光熱費）
合計	14,540,000	14,030,969	

(2) 令和 4 年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	853,000	585,528	
光熱水費	(793,000)	(585,528)	電気・水道代
(維)修繕料	(60,000)	(0)	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	842,000	728,357	夜間巡回警備ほか
合計	1,695,000	1,313,885	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
<文化財保護管理費>			
需用費	1,077,000	923,129	
消耗品費	(250,000)	(204,312)	水田管理用品ほか
燃料費	(22,000)	(20,116)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(505,000)	(430,301)	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	(300,000)	(268,400)	遺跡修繕工事費
役務費	54,000	38,508	電話代ほか
委託料	5,787,000	5,671,461	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
委託料(政策)	1,700,000	1,518,000	燻蒸業務
賠償金	1,000	4	ガス料金未払いによる延滞利息金
<文化財整備活用事業費>			
旅費	91,000	54,990	出土品修理の指導監督に係る旅費
消耗品費	35,000	34,611	農業用長靴(登呂ムラ屋外体験学習指導)
委託料	3,203,000	3,196,740	重要文化財登呂遺跡出土品保存処理業務
合計	11,948,000	11,437,443	(イ)

ウ 給与費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	184,000	161,000	博物館協議会委員報酬
合計	184,000	161,000	(ウ)

エ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報償費	411,000	281,000	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	271,000	166,988	展示準備関係旅費ほか
需用費	21,076,000	18,505,639	
消耗品費	(1,369,000)	(1,230,435)	一般事務及び管理用品ほか
印刷製本費	(2,985,000)	(2,371,160)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(11,141,000)	(9,520,864)	電気・水道代
(物)修繕料	(200,000)	(22,000)	物品等修繕料
(維)修繕料	(3,281,000)	(3,262,600)	博物館施設修繕工事費
(維)修繕料(政策)	(2,100,000)	(2,098,580)	博物館施設災害復旧修繕工事費
役務費	2,944,000	2,536,933	電話代・クリーニング代ほか
委託料	28,180,000	23,876,166	施設管理のための業務委託ほか
使用料及び賃借料	6,252,000	6,098,901	複写機使用料、システム使用料ほか
備品購入費	150,000	124,800	A1プリンター
負担金、補助及び交付金	94,000	88,000	日本博物館協会負担金ほか
合計	59,378,000	51,678,427	(エ)

オ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	1,388,000	1,388,000	登呂まつり補助金
合計	1,388,000	1,388,000	(オ)

カ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	74,593,000	65,978,755	(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) + (オ)

4 展示

4-1 春季企画展「誕生スルガノクニ - 静岡市の奈良・平安時代 -」

会 期：令和4年3月19日(土)～6月12日(日)

≪73日間≫

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第4弾。日本の政治の原点となる「制度」がどのように整備され、古代「駿河区」は生まれたのかを紐解く展示。

観覧者：11,640人

一 般	6,032人
高校生・大学生	462人
小学生・中学生	5,146人

点 数：202点

資料協力： 静岡県埋蔵文化財センター
磐田市教育委員会
藤枝市教育委員会
三島市教育委員会
函南町教育委員会

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：13,500枚

紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B1、B2、A2

数 量：3枚、360枚、1,580枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

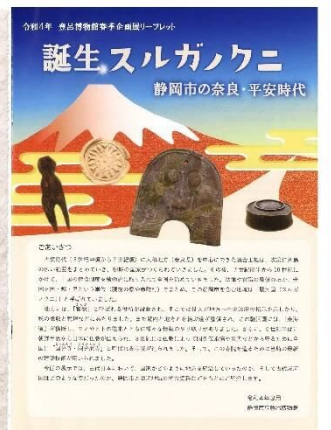
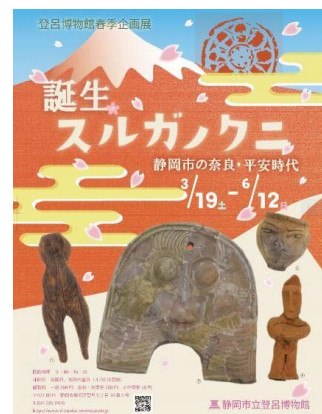
(3) リーフレット

構 成：A4 8頁 中綴じ

数 量：2,000部

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

担当：梶山 倫裕



関連事業

(1) 講演会「古代スルガノクニのまつりごと」

概要：奈良・平安時代の古代駿河国の郡衙で行われていた地方支配や祭祀の実態を当時の社会情勢を踏まえて講演いただいた。

日程：令和4年5月15日（日）

時間：13：30～15：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：静岡県考古学会 丸杉 俊一郎 氏
(菊川市教育委員会)

人数：47人+関係者

費用：100円



(2) 展示解説

日程：3月26日（土）

4月24日（日）

6月5日（日）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：73人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』3月号
- ・『すろーかる』4月号
- ・「リビング静岡」1月号
- ・JR 静岡駅構内ポスター
- ・静鉄駅舎構内ポスター
- ・Web サイトへの登録



4-2 夏季企画展「登呂博今昔ものがたり」

会 期：令和4年7月9日(土)～8月28日(日)
 ≪51日間≫

概 要：「道具」・「体験」・「展示」の側面から、
 50年もの時を積み重ねる中、登呂遺跡・
 登呂博物館が辿った歩みを紹介した。

観覧者：6,746人

一 般 3,926人

高校生・大学生 327人

小学生・中学生 2,493人

点 数：51点

印 刷 物：(1) チラシ

サイズ：A4両面

数 量：15,100枚

紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B2片面、A2片面

数 量：B2 330枚、A2 1,580枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

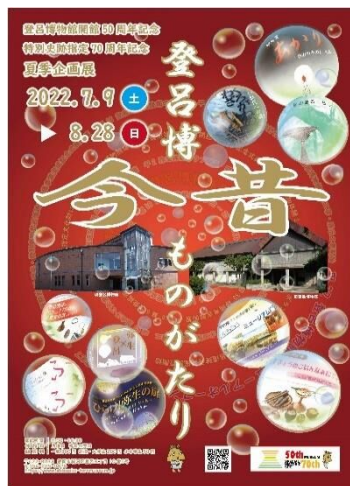
※ 登呂博物館開館50周年・
 特別史跡指定70周年記念
 歴史展覧会ポスターリーフレット

サイズ：A4両面

数 量：500部

紙 質：マットコート 70kg

担当者：國島 朋子



関連事業

(1) 講演会「登呂博物館の50年」

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

日時：令和4年8月13日(土) 13:30~15:20

概要：登呂博物館が試行錯誤を繰り返した50年の振り返りについて講演していただいた。

講師：元登呂博物館学芸員 中野 宥 氏

参加者：12人

(当初34人の申し込みがあったが、当日台風による荒天のため、キャンセル多数となった。)



(2) イベント「プラモデルで登呂ムラをつくろう」

日時：令和4年7月31日(日) 10:00~15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：1,300円

参加者：6人



(3) 展示解説

日時：令和4年7月9日(土)

7月30日(土)

8月21日(日)

時間：11:00~、14:00~

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：95人



広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』7月号
- ・『すろーかる』7、8月号
- ・webサイトへの登録
- ・静岡新聞
- ・中日新聞
- ・読売新聞 など



4-3 秋季企画展「祀りとまつり展」

会 期：令和4年9月17日（土）～11月6日（日）

≪43日間≫

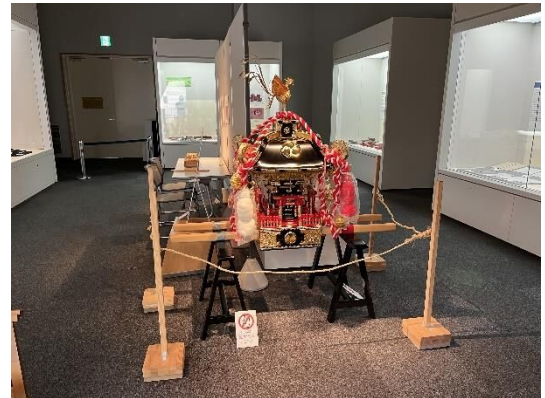
概 要：弥生時代や古墳時代に、登呂遺跡や静岡・清水平野でどのような「まつり」が行われていたのか、発掘された祭祀具等から紹介した。その後、現代に至るまでに「まつり」の意味や役割がどのように変化してきたか、関連する遺跡や民俗文化財を取り上げながら紹介した。また、現代の「まつり」として地元で長年開催されてきた「登呂まつり」を取り上げ、「まつり」に対する地域の方の想いや、今後の社会において「まつり」が持つ役割を考えた。



観覧者：4,860人

一 般	2,502人
高校生・大学生	145人
小学生・中学生	2,213人

点 数：101点



資料協力：和泉市教育委員会 大阪府立弥生文化博物館

埼玉県立さきたま史跡の博物館

静岡県埋蔵文化財センター

静岡浅間神社 静岡まつり実行委員会

鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課青谷かみじち史跡公園準備室

登呂一丁目自治会 登呂会 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 浜松市博物館

富士見台一丁目自治会 守山市教育委員会

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：15,100枚

紙 質：マットコート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：A3、A2

数 量：330枚、1,580枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg

担当者：渡邊 智大



関連事業

(1) 関連イベント「祭殿見学会」

概要：登呂まつりの開催に合わせて復元祭殿の扉を開放し、内部を見学するイベントを実施した。併せて、貫頭衣の着用体験も実施し、かつての祭りの中心地とされる祭殿周辺に人の集いを創出した。

日時：令和4年10月8日（土）10：00～15：30

会場：登呂遺跡 復元祭殿前

協力：登呂博物館協議会委員 伊熊 修 氏

料金：無料

人数：祭殿見学会：約500人

貫頭衣体験：205人



(2) 関連イベント「発掘！むかしの人のくらしを探ろう」

概要：展示内容に沿った複製品等を発掘し、どのように使われていたのかをグループワークで検討し、発表した。

日時：令和4年11月3日（木・祝）

13：30～15：30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：100円

人数：14人

協力：ふじのくに地球環境史ミュージアム

STEAMグループ



(3) 展示解説

日程：10月2日（日） 10月22日（土）

11月5日（土）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：63人



広報・報道

・静岡市広報紙『静岡気分』9月号

・『すろーかる』9月号、10月号、11月号

・静岡県文化振興財団『グランシップマガジン 30号』

・FM-Hi「大好き静岡、歴史がすごい」放送日：9月7日（水）・9月21日（水）18：30～19：00

・FM-Hi「あさラジ@モーニング金曜『週末お出掛けガイド』コーナー」放送日：9月23日（金）8：40～9：00（生放送）

・webサイトへの登録 など

4-4 冬季企画展「コメ作りの考古学と民俗学」展

期：令和4年12月3日（土）～令和5年1月29日（日）
 ≪58日間≫

概要：登呂遺跡をはじめとする静岡市内の遺跡からは、多くの農具が出土しています。これらの出土した農具の用途は、近代の農具や民俗例を参考にしていることもあります。当時の人々は、どのようにコメを作っていたのでしょうか？この展示では、弥生時代から始まったコメ作りの作業内容やその目的について、実際の近代農法や民具等も交えて紹介します。

観覧者：3,452人

一般	2,356人
高校生・大学生	316人
小学生・中学生	780人

点数：87点

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数量：15,100枚

紙質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数量：330枚、1,580枚

紙質：マットコート紙 四六判 110kg



担当者：梶山 倫裕

関連事業

(1) しめ縄づくり体験

概要：復元水田で収穫した稲藁でしめ縄を作る。

日時：令和4年12月24日(日) 9:30~12:25

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：増田 作一郎氏

料金：400円

人数：47組



(2) 「藁ぞうりづくり体験」

概要：復元水田で収穫した稲藁でぞうりを作る。

日時：令和5年1月22日(日) 13:15~16:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール・

講師：増田 作一郎氏

料金：500円

人数：14組



(3) 展示解説

日程：12月11日(日)、1月8日(日)

時間：11:00~、14:00~

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：72人



広報・報道

- ・静岡新聞「コメ作りの歴史探る」(コメ作りの考古学と民俗学)
- ・静岡市広報紙『静岡気分』12月号
- ・『すろーかる』12、1月号
- ・「リビング静岡」12月号
- ・Webサイトへの登録

4-5 令和4年度特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」

会 期：令和5年2月25日（土）～ 5月21日（日）
 ≪72日間≫

概 要：登呂遺跡で発見されていない墓や埋葬のスタイルについて、有東遺跡など周辺の発見例や最近の発掘情報を比較しながら紹介しました。

観覧者： 12,468人
 一 般 8,184人
 高校生・大学生 763人
 小学生・中学生 3,521人

点 数：131点

資料協力：大阪市文化財研究所

掛川市文化・スポーツ振興課、函南町教育委員会
 佐賀県教育委員会、静岡県埋蔵文化財センター
 静岡大学人文社会科学部考古学研究室
 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
 栃木県立博物館、日本大学文理学部考古学研究室
 沼津市文化財センター、浜松市博物館、袋井市生涯学習課
 富士宮市埋蔵文化財センター、常陸大宮市教育委員会、
 三島市教育推進部文化財課



印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4
 数 量：15,100枚
 紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A3
 数 量：330枚、1,580枚
 紙 質：マットコート 四六判 110kg

(3) 図録

構 成：A4 74頁 22字×29行×3段
 無線綴じ製本・表紙PP加工
 数 量：700部

紙 質：<表紙・裏表紙>

2ページ アートポスト 180kg

<見返しあり>

4ページ 色上質 特厚口

<中表紙・目次等>

3ページ コート 110kg

<図録編>

37ページ コート 110kg

<論考編>

25ページ コート 110kg

<参考引用文献>

2ページ 110kg

<奥付>

1ページ 110kg

担当者：梶山 倫裕、渡邊 智大

関連事業

(1) シンポジウム①「登呂の時代の墓と祭祀」

概要：登呂遺跡の時代の墓と祭祀の姿について、
基調講演や講演をいただき、パネルディスカッションを行った。

日程：令和5年3月4日（土）13：10～16：00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：明治大学文学部教授 石川 日出志 氏
静岡市観光交流文化局次長 岡村 渉 氏
静岡大学人文社会科学部教授
篠原 和大 氏

人数：78人

費用：200円

(2) シンポジウム②「弥生時代墓制の変化と社会」

日程：3月5日（日）9：30～16：10

会場：登呂博物館1階登呂交流ホール

主催：静岡県考古学会

共催：静岡市立登呂博物館

基調報告者：大阪市文化財協会 大庭 重信 氏
横浜市ふるさと歴史財団
埋蔵文化財センター 古屋 紀之 氏

講演者：静岡大学人文社会科学部教授
篠原 和大 氏

人数：約90人

(3) 展示解説

日程：3月18日（土）、4月15日（土）、5月3日（水祝）

時間：11：00～、14：00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：74人

広報・報道

- ・静岡市広報紙『静岡気分』2月号
- ・『すろーかる』2、3月号
- ・「リビング静岡」令和5年2月号
- ・JR 東海在来線車内ポスター
- ・Web サイトへの登録



4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21～6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30～9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29～12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12～3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23～6.16	石をつかった、土器をつくった。－静岡市の旧石器・縄文時代－	15,276
1	2019.7.13～9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5～12.1	芹沢銈介と考古(学)	4,139
	2020.1.11～3.1	古墳のきらめき ー賤機山古墳展ー	3,650
1-2	2020.3.20～6.14	お米づくり、はじめました。 ー静岡市の弥生時代ー	1,482
2	2020.7.3～9.13	実測	6,695
	2020.10.3～11.29	水とともに生きる	5,812
	2021.1.9～2.28	「ちっちゃ」展	2,885
2-3	2021.3.20～6.13	前方後円墳がやってきた	9,129
3	2021.7.3～9.12	ひょっこり有度山展	5,456
	2021.10.2～11.28	WOOD ー木を活かす弥生人-	6,443
	2022.1.8～2.27	真っ直ぐな刀展	2,974
3-4	2022.3.19～6.12	誕生スルガノクニ ー静岡市の奈良・平安時代ー	11,640
4	2022.7.9～8.28	登呂博今昔ものがたり	6,746
	2022.9.17～11.6	祀りとまつり展	4,860
	2022.12.3～2023.1.29	コメ作りの考古学と民俗学	3,452
4-5	2023.2.25～5.21	静岡に眠る弥生時代の開拓者	12,468

4-7 通常展示

(1) 常設展示室（博物館2階）

概要：登呂遺跡にあった集落（ムラ）の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや映像媒体などを使った、直感的な展示を行っている。日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料で分かりやすく伝えている。

また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室(博物館1階)

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。

弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された建物・道具によって、登呂ムラの様子が復元されている。従来は貫頭衣試着体験や、弥生時代の米づくりの体験が可能なスペースとし、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用できた。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種体験を中断・実演のみの対応としていたが、令和4年度から米づくり体験や田下駄体験等を従来の体験の形に戻した。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした459点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期 間：平成30年度～令和13年度

費 用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対 象：459点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化处理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 令和4年度実績

数 量：26点（保存台3点作成）

修 理：静岡県埋蔵文化財センター

運 搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経 費：3,264,576円

5-2 資料貸出（出土品等）

（1）貸出先：静岡市歴史博物館

展示名：静岡市歴史博物館基本展示

期 間：令和4年12月21日（水）～令和5年5月31日（水）

対 象：『尋常小学国史 上巻』1点

『改訂 新しい社会科 五年上』1点 計2点

（2）貸出先：上田市立美術館・目黒区美術館

展示名：「中村直人－オリエンタル／モニュメンタル」

期 間：令和5年3月30日（木）～9月15日（金）

※展示期間：（上田市立美術館）令和5年4月15日（土）～6月11日（日）

（目黒区立美術館）令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

対 象：中村直人『草薙剣』木像 1点



5-3 寄贈

（1）対 象：据え置き式背無しベンチ

数 量：2点

寄付者：静岡弥生ライオンズクラブ

（2）対 象：大塚初重氏写真硝子乾板

数 量：1点

寄贈者：個人

6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：令和4年4月～令和4年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：15 団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：令和4年4月～令和4年12月

会場：復元水田

料金：1,000 円

参加者：37 組（40 区画）



(3) 田植え体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和4年5月22日(土)、28日(土)、29日(日)、6月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)の9日間

会場：復元水田

料金：100 円

人数：416 人



(4) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事（発掘・測量・拓本・展示）を体験する。

日程：令和4年8月9日(火)、16日(火)、23日(火)
(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300 円

人数：9 人（小学5年生～中学2年生）



(5) ドロン子パーク

概要：より小さな子どもたちに、登呂遺跡の水田に親しみをもってもらえるようにするため。

期間：令和4年8月6日（土）、7日（日）、11日（木祝）、13日（土）、14日（日）、19日（金）20日（土）、21日（日）、27日（土）、28日（日）の9日間

会場：登呂遺跡内復元水田

料金：無料

参加者：434人（大人197人、子ども237人）



(6) みごほうきづくり体験

概要：収穫した稲藁を再利用し、「みごほうき」をつくる。併せて、登呂遺跡での稲作や登呂ムラで行われた「再利用」についても紹介する。

日時：令和4年9月17日（土）10：00～11：30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：300円

人数：10人



(7) 赤米収穫体験～稲刈り～

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・粃摺りを体験する。

日時：令和4年10月1日（土）、2日（日）、8日（土）、9日（日）、10日（月祝）、15日（土）、16日（日）、22日（土）、23日（日）、29日（土）、30日（日）の11日間

会場：復元水田

料金：200円

人数：507人



(8) 赤米収穫体験～石器づくり～

概要：様々な形の石を研いで石器をつくる。

日時：令和4年10月2日（日）、9日（日）、10日（月祝）、15日（土）、16日（日）、23日（日）、30日（日）の7日間

会場：登呂遺跡 祭殿下

料金：300円

人数：321人



(9) 登呂遺跡探検ツアー

概要：スルガフェスの体験ブースの一つとして出店。

日時：令和4年10月15日（土）10：00～15：00

会場：登呂遺跡、登呂博物館

参加者：53人



(10) 登呂博物館開館 50 周年・特別史跡登呂遺跡 70 周年記念イベント

秋の収穫祭「ハッピートロウィン～登呂ムラ仮装収穫祭～」

概要：登呂遺跡西側メモリアル広場に学生らが交流をしながら、
“ムラ”をつくり、まつりを再現した。

※はびまま×登呂遺跡 ハロウィンピクニックを同時開催

日時：令和 4 年 10 月 22 日（土） 9：00～19：00

10 月 23 日（日） 9：00～15：00

会場：登呂遺跡西側メモリアル広場

参加者：人数：5,906 人（博物館入館者数）



(11) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した
稲穂を小袋に入れたものを配布する。

日程：令和 5 年 1 月 4 日（火）、5 日（水）

場所：登呂博物館 2 階 常設展示室前

料金：無料（要観覧料）

数量：約 240 個



(12) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焼き上げ、豊穰を祈
願する。

日時：令和 5 年 1 月 9 日（月祝） 11：00～11：30

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：約 60 人



(13) 弥生土器づくり体験

概要：土器についての知識を学び、土器の成型から野焼きまでを
行う。

日時：令和 5 年 2 月 4 日（土）、5 日（日）、3 月 11 日（土）

会場：登呂博物館 1 階交流ホール、登呂遺跡

料金：300 円

人数：16 組



(14) 登呂のイスを作ろう！腰掛づくりワークショップ

概要：登呂遺跡出土資料である「腰掛」を杉材で作る体験。

日時：令和 5 年 3 月 21 日（火祝） 13：30～16：00

会場：登呂博物館、屋外体験学習地区

料金：1,100 円

参加者：9 組



6-2 共催・連携事業

(1) ふじのくに文化財交流イベント

概要：山梨県と静岡県の土器を中心としたミニ展示とワークショップ、ポスター掲示とチラシ配布を実施する。

「ふじのくに文化財交流展」のキックオフイベント。

日時：令和4年7月30日（土）、31日（日）

10：00～17：00

会場：アピタ静岡店

連携先：静岡県文化財課、山梨県文化財課



(2) 登呂ミュージアムストリート vol.4

概要：3館連携でスタンプラリーを開催。

ワークショップでオリジナルうちわ作成を実施。

会期：令和4年8月2日（火）～8月31日（水）

会場：登呂博物館、芹沢銈介美術館、駿府博物館

記念品：200セット配布

連携先：芹沢銈介美術館、駿府博物館、(株)やまだいち



(3) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。

会期：令和4年9月13日（火）～10月14日（金）

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

観覧者数：169人（アンケート回答数）

連携先：静岡市文化財課



(4) 駿河トロペーWeek2022

概要：駿河区役所周辺の企業・施設・団体が一体となり、各所で様々なイベントが繰り広げられる。

日時：令和4年10月8日（土）～15日（土）

会場：駿河区役所、登呂博物館・登呂遺跡ほか

連携先：駿河区地域総務課



(5) 第60回登呂まつり

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのおまつり。

日時：令和4年10月8日（土）、9日（日）

会場：登呂遺跡、登呂博物館

連携先：登呂まつり実行委員会



(6) スルガフェス

概要：秋をテーマとして、駿河区の自慢の”食”と楽しい
“ワークショップ・アクティビティ”が集結。
日時：令和4年10月15日（土）10：00～15：00
会場：登呂遺跡、登呂博物館
来場者数：約 8,500 人
連携先：駿河区地域総務課



(7) 登呂博物館 ナイトミュージアム

概要：トロバーWeek の連携事業として、博物館の夜間特別
会館に加え、遺跡のライトアップ等を行った。
日時：令和4年10月15日（土）18：00～20：00
会場：登呂遺跡・登呂博物館
人数：228 人
連携先：芹沢銈介美術館



(8) はびまま×登呂遺跡 ハロウィンピクニック

概要：子育て支援団体「はびまましずおか」による飲食・
物販・体験イベント「はびまま×登呂遺跡ハロウィン
ピクニック」を共催開催した。
日程：令和4年10月22日（土）、23日（日）
10：00～15：00
会場：登呂遺跡・登呂博物館
人数：5,906 人（博物館入館者数）
連携先：はびまましずおか



(9) 南部図書館「登呂遺跡コーナー」新設

概要：同駿河区の南部図書館1階に常設展示として「登呂
遺跡コーナー」を新設。登呂博物館制作図録や登呂
遺跡模型、ミニチュア土器展示を協同開始した。
日程：令和5年1月6日～
連携先：南部図書館



(10) 青谷弥生人とっとり弥生の王国プロモーション推進事業

「青谷弥生人」ミュージアムキャラバン
概要：青谷弥生人の復顔像や出土資料の展示、講演会の実施。
会期：令和5年2月18日（土）～3月12日（日）
会場：登呂博物館1階情報コーナー、2階常設展示室前スペース
観覧者数：8,894（博物館入館者数）
連携先：鳥取県地域づくり推進部文化財局
とっとり弥生の王国推進課



(11) 「青谷弥生人」ミュージアムキャラバン関連講座

「青谷上寺地遺跡と弥生の人々」

概要：青谷上寺地遺跡の出土資料の紹介や青谷弥生人の復顔像にまつわる研究成果についての講演会。

日時：令和5年3月12日（日）13：30～15：30

会場：登呂博物館1階交流ホール

参加者：51人

連携先：鳥取県地域づくり推進部文化財局
とっとり弥生の王国推進課



6-3 講師派遣・出張講座

(1) 市政出前講座

「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分（重文）知ってる？その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

東海大学付属静岡翔洋小学校6年生

日時：令和4年7月1日（金）10：45～13：25

講師：登呂博物館学芸員 梶山 倫裕

人数：52人



(2) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。題名を「石器の刃」と称し、弥生時代に穂積みの際用いられていた石器づくりを実施した。

日時：令和5年3月11日（土）12：00～16：00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：登呂博物館体験指導員 巻田 直紀

参加者：60人



7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れた。弥生体験展示室での体験補助、屋外体験の補助、登呂遺跡で発見したことの展示ボード作成などの業務を行った。

番号	期間	学校	学年	人数
1	令和4年5月24日(火)、25日(水)	静岡市立大里中学校	2	3

7-2 視察等受入

番号	受入日	団体	目的
1	令和4年4月27日(水)	塩尻市立平出博物館	遺跡・施設見学

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和4年8月4日(木)～11日(木)≪7日間≫

人数：10人(定員10人)

(内訳) 筑波大学1 中央大学1 高知大学1 静岡大学2 東海大学2、
東京都立大学1 帝京大学1 上智大学1

内容：1日目 概要説明、体験学習、教育普及案発表
2日目 収蔵庫見学、保存処理施設見学
3日目 梱包実習、写真撮影実習
4日目 展示計画、体験イベント補助
5日目 教育普及事業案発表・検討、体験イベント補助
6日目 展示計画、体験イベント補助
7日目 展示準備、展示・発表

8 広報

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 70kg、A4判（両面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 90kg、A4判（三つ折り）

部数：15,000部

備考：A3判の紙を使い、裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設、近隣の町内会等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

平成 22 年度より運用を行ってきた登呂博物館のホームページを一新。令和 2 年 1 月に新しいホームページを公開した。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和 2 年 3 月、登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開した。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館 Twitter

登呂博物館の公式 Twitter アカウントを開設。令和元年 10 月より投稿を開始した。登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信する。(https://twitter.com/torohaku_torobe)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・SBS 静岡放送「Sole いいね」
- ・SBS 静岡放送「ニュース」
- ・トコチャン
- ・テレビ東京「土曜スペシャル・」
- ・静岡第一テレビ「土曜スペシャル」
- ・静岡第一テレビ「まるごと ずん飯尾のペコリーノ」
- ・FMHi「大好き静岡 歴史がすごい」
- ・TBS「ラヴィット!」
- ・釣りビジョン「こちら東海です。DX」
- ・SBS ラジオ「長崎一朗の仕事のコツ」
- ・NHK テレビ「たっぷり静岡」

(2) 新聞

- ・静岡新聞「大自在」
- ・静岡新聞「落ち葉堆肥に再利用」
- ・読売新聞「春季企画展」
- ・静岡新聞「カルガモ親子も水田で涼」
- ・静岡新聞「登呂博物館 50 周年で企画展」(開館 50 周年、田んぼアート)
- ・静岡新聞「登呂博物館 50 周年の歩みは」(夏季企画展)
- ・中日新聞「企画展紹介」
- ・静岡新聞「大塚初重さん死亡」
- ・静岡新聞「カルガモのひな 炎天下救出作戦」
- ・静岡新聞「登呂遺跡の発掘調査 汗と愛の出納簿」
- ・静岡新聞「駿府城デジタルで再建を」(静岡市長と意見交換)
- ・静岡新聞「記憶に残る博物館」
- ・日本経済新聞「戦いの現場こそ「予祝」を」
- ・産経新聞「THE 古墳 登呂遺跡から始まった発掘人生を全う」
- ・静岡新聞「登呂遺跡テーマ 展示に挑戦」(博物館実習①)
- ・産経新聞「登呂遺跡 焦土日本に勇気」
- ・静岡新聞「学芸員を目指す学生が企画展示」(子ども学芸員養成講座)
- ・静岡新聞「児童ら弥生土器修復」(子ども学芸員養成講座)
- ・静岡新聞「3館巡るスタンプラリー」(登呂ミュージアムストリート)
- ・静岡新聞「ユーモア交え遺跡案内」(登呂博物館ガイド紹介)
- ・中日新聞「特別史跡 70 周年浮かぶ古代米文字」(田んぼアート)
- ・静岡新聞「稲わらほうき作ったよ」(みごほうきづくり)
- ・静岡新聞「稲刈り体験家族楽しむ」(稲刈り体験、トロベーウィーク)
- ・静岡新聞「昨年度の発掘調査 土器など成果展示」(静岡市文化財展)
- ・静岡新聞「発信! 駿河区の魅力」(スルガフェス)

- ・静岡新聞「登呂から始まった追及」
- ・静岡新聞「弥生時代の暮らし創造」(ハッピートロウイン～登呂ムラ仮装収穫祭)
- ・静岡新聞「しずおか連詩の会」
- ・静岡新聞「同級生との再会喜ぶ」(登呂あそびガーデン)
- ・静岡新聞「美と快と 県内館収蔵品物語 田下駄」
- ・静岡新聞「有東遺跡静岡弥生の木棺」
- ・静岡新聞「研究進み弥生観多様に」
- ・静岡新聞「潤沢予算で古代を演出」
- ・静岡新聞「歴史観改めた価値 不安」
- ・静岡新聞「初期農耕の実像に迫る」
- ・静岡新聞「学芸員充実“復権”の鍵」
- ・静岡新聞「コメ作りの歴史探る」(コメ作りの考古学と民俗学)
- ・静岡新聞「青谷弥生人ミュージアムキャラバン」
- ・静岡新聞「清流 登呂遺跡」
- ・静岡新聞「大自在」
- ・静岡新聞「登呂ムラ祖先の木棺公開」(静岡に眠る弥生時代の開拓者)
- ・静岡新聞「弥生時代の木棺 初公開」(静岡に眠る弥生時代の開拓者)
- ・中日新聞「登呂博物館に弥生人が…」(
- ・静岡新聞「アイヌ文化 魅力に触れる」

(3) 雑誌等

ア 有料広告

- ・Google ディスプレイ広告
- ・JR 東海在来線 C 額面ポスター
- ・静鉄駅ポスター掲出(新静岡、新清水等 計 16 駅)
- ・静鉄サイネージ
- ・フリーペーパー道の駅 東海版
- ・るるぶこどもとあそぼ! 首都圏'24
- ・歴史人 3月号
- ・わお! ハイウェイマップ 静岡県静岡市エリア
- ・静大祭広告掲示

イ 無料広告・掲載(主なもの)

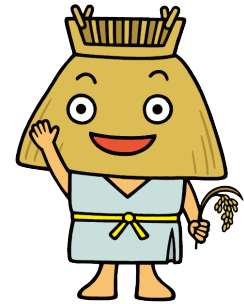
- ・『GRANSHIP』(ふじのくに文化情報センター)
- ・『すろ〜かる』(すろーらいふ)
- ・「広報しずおか 静岡気分」(静岡市広報課)
- ・『日本歴史』(日本歴史学会)
- ・『ミュージアム通信』(特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしずおか)
- ・フリーペーパー KAKEHASHI
- ・「タウン新聞しずおか」『リビング静岡』(静岡リビング新聞社)
- ・ゼンリン 静岡駅周辺マップ
- ・まっぷる静岡'23

(4) ウェブサイト・その他 (主なもの)

- ・ 静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 Twitter
- ・ Dokka
- ・ 「IM」 (インターネットミュージアム)
- ・ MUSCA 全国のミュージアム・カレンダー
- ・ 「まなぼっと」 (静岡県総合教育センター)
- ・ 「しずはく.net」 (静岡県博物館協会)
- ・ 日本博物館協会ホームページ
- ・ 日本考古学協会ホームページ
- ・ 「@S (アットエス)」 (静岡新聞 SBS)
- ・ キッズアートプロジェクトしずおか HP

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

活用状況（駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。）

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	令和 4 年 7 月 30 日、31 日	ふじのくに文化財交流展	アピタ静岡店
2	令和 4 年 10 月 14 日	スルガフェス	登呂博物館、登呂遺跡



9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 ()内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	会議 (22)				
5月	会議 (13)		粃蒔き (1)		プラモデル「登呂遺跡」づくり体験 (1)
6月	会議 (20)		代掻き・ 田植え (6)		田植え体験(3)
7月	会議 (17)	夏季企画展「登呂博物館の50年」(15)	草取り (6)		
8月	会議 (21)		草取り (6)		
9月	中止	秋季企画展「祀りとまつり展」(中止)			みごほうきづくり (6)
10月	会議 (23)		稲刈り (9)		祭殿見学会 (1)
11月	—		脱穀・もみすり (5)	静岡市歴史博物館見学会 (10)	赤米収穫体験 (5)
12月	会議 (30)			山梨県立考古博物館座談会 (15) しめ縄づくり研修 (22)	しめ縄づくり (21)
1月	会議 (14)	冬季企画展「コメ作りの考古学と民俗学」(11)			どんど焼き (14)
2月	会議 (10)				土器づくり体験 (22)
3月	会議 (18)	特別展「静岡に眠る弥生時代の開拓者」(17)			木工体験 (4)

(2) 登録者数：53人（令和4年4月1日時点。前年同時期55人）

(3) 平均活動人数：1日平均6.2人（前年度比0.9人増）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：7人

イ 募集期間：令和4年8月2日～8月31日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（研修日は各回どちらか1日を選択）

	日時	場所	内容
第1回	9月19日（月祝）または 9月21日（水） 9：30～11：30	登呂博物館 1階交流ホール集合	・ガイダンス（ボランティア 体制、館概要、接遇） ・1階体験展示室の説明 ・2階常設展示室の説明
第2回	9月28日（水）または 10月1日（土） 9：30～10：30		・登呂遺跡解説
第3回	10月8日（土）または 10月9日（日） 9：30～12：00		・イベント対応（赤米収穫体験）
可能者のみ	10月29日（土） 9：30～10：30（事務連絡） 10：40頃～12：00（稲刈）	登呂博物館 1階交流ホール集合	・ボランティア連絡会議へ出席 （顔合わせ） ・有志でボランティア水田稲刈 作業実施

9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿 (◎会長)

ア 任期 令和3年8月1日から令和5年7月31日まで (令和5年4月1日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
市民	伊熊 修	市民公募委員
市民	鈴木 杏佳	市民公募委員
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
家庭教育関係者	木村 貴子	静岡市立高松中学校 PTA 顧問
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育大学院学校組織開発領域 准教授
学校教育関係者	藁科 彰良	静岡市立清水袖師中学校長
学校教育関係者	野田 修	静岡市立南部小学校長
◎学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部教授 常葉美術館館長
学識経験者	木山 克彦	東海大学 人文学部 准教授
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長

※ 敬省略

(2) 令和4年度協議会開催実績

ア 第1回

日時：令和4年7月21日(木) 13:30~15:15

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：9人

傍聴者：0人

内容：(1) 令和3年度の事業報告

(2) 令和4年度の事業について

(3) 議題「登呂遺跡周辺の地域住民に親しまれるための博物館運営の在り方」

イ 第2回

日時：令和5年1月25日(水) 13:15~15:15

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：8人

傍聴者：0人

- 内 容：(1) 令和5年度の事業予定について
- (2) 令和4年度上半期までの事業報告
- (3) 議題「登地域住民が愛着のもてる登呂遺跡・登呂博物館にするための登呂まつりなどのイベントを通じた地域との関わり方」

10 利用案内

(1) 開館時間

9：00～16：30（博物館）、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日、12月26日～1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料（通常期：令和4年4月1日時点） ※博物館1階は無料でご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒（これらに準ずる者）

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分

ウ 駐車場 博物館南側（東名高速道路側道北側）に有料駐車場あり（普通車一回400円）

(5) 音声ガイド ※新型コロナ感染症対策のため一時休止中

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」（ノムラテクノ株式会社）

イ 言語 日本語、英語、中国語（文字は簡体字）、韓国語

ウ 設置箇所 15（博物館内11、復元建物4）

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第 29 号 令和 4 年度

発行日：令和 5 年 6 月 30 日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>